

図-6.15.1.24(3) 各測線におけるホンダワラ藻場の被度状況 (平成20年度、夏季)

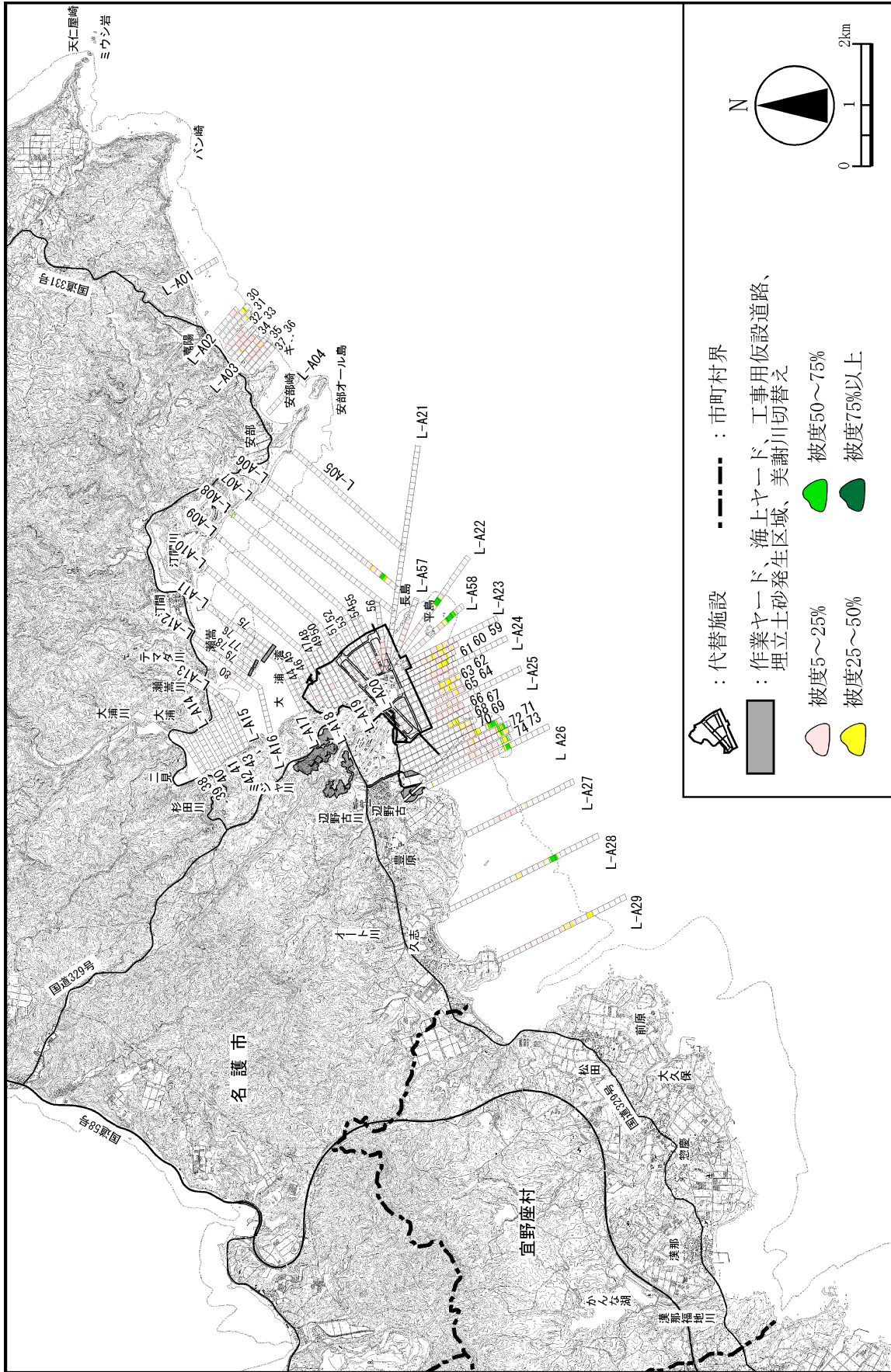


図-6.15.1.24(4) 各測線におけるホンダワラ藻場の被度状況（平成20年度、冬季）

c) ライン補足調査

ライン補足調査結果の概要を表-6.15.1.22に、調査測線上の代表点で行ったライン上スポット調査の結果概要を表-6.15.1.23に、結果を表-6.15.1.24に示します。また、夏季及び冬季に実施したライン調査結果とあわせて、藻場の被度及び藻場構成種の出現種類数の季節変化を整理した結果を図-6.15.1.25～図-6.15.1.29に示します。

ライン上スポット調査における海藻草類の出現種類数は春季に92種類、秋季に72種類でした。ライン調査の結果では、ホンダワラ類が冬季に比べて夏季に繁茂する傾向が認められましたが、春季と秋季の調査結果からはこうした傾向は認められませんでした。

海草藻場の被度の変化についてみると、藻場が確認された観察枠数の総数には大きな変化はみられないものの、春季から秋季にかけて高い被度で繁茂し、冬季には被度が低下する傾向が認められました。藻場構成種の種類別の出現状況を見ると、リュウキュウスガモやボウバアマモなどで同様の季節変化が認められます。また、海草藻場構成種の出現種類数の変化には明確な傾向は認められませんでした。

ホンダワラ藻場についても夏季を中心に繁茂し、冬季は被度が低下する傾向が認められました。種類別の出現状況を見ると、最も出現頻度の高いホンダワラ属で同様の季節変化が認められます。また、フタエモク、ヒメハモク、チュラシマモクなどは夏季にのみ出現していましたが、藻場構成種の出現種類数には、海草藻場と同様に明確な季節変化は認められませんでした。

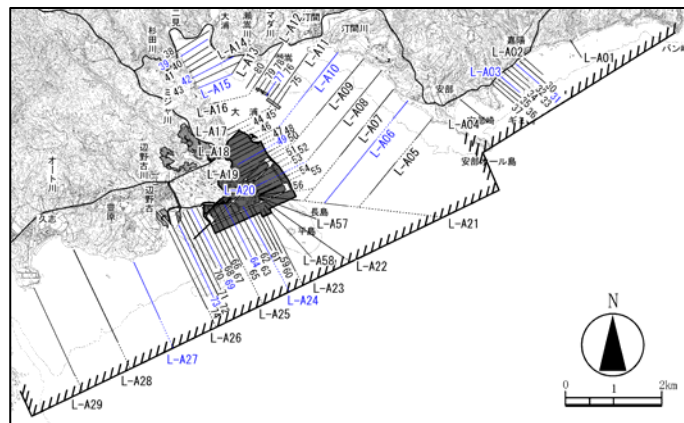
表-6. 15. 1. 22(1) ライン補足調査結果概要（平成 20 年度、春季）

調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日

【海草藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	38	13	13	21	10	4	8	0
L-A6	2700	98	2	0	0	0	0	3	580
L-A10	1960	93	6	1	0	0	0	3	660
L-A15	770	94	6	0	0	0	0	4	0
L-A20	1170	67	3	5	8	13	5	7	780
L-A24	1980	60	0	3	9	15	13	8	780
L-A27	1950	68	8	18	5	0	0	5	650
L-A31	700	74	16	7	0	3	0	5	0
L-A39	660	68	32	0	0	0	0	4	0
L-A42	970	61	28	7	1	3	0	8	0
L-A49	950	70	17	8	5	2	0	5	290
L-A64	1220	55	11	7	9	9	10	8	0
L-A69	1400	38	18	21	9	5	10	7	0
L-A73	1660	62	8	10	6	9	5	8	0
L-A77	370	59	41	0	0	0	0	2	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

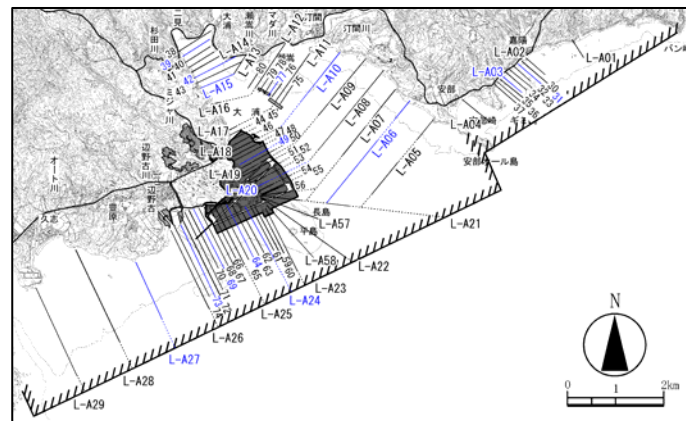
表-6. 15. 1. 22(2) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、春季)

調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日

【ホンダワラ藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	42	52	6	0	0	0	3	0
L-A6	2700	31	32	11	8	12	7	2	580
L-A10	1960	98	2	0	0	0	0	1	660
L-A15	770	71	13	16	0	0	0	2	0
L-A20	1170	67	23	5	5	0	0	2	780
L-A24	1980	48	11	25	15	1	0	3	780
L-A27	1950	45	14	10	30	1	0	3	650
L-A31	700	99	1	0	0	0	0	1	0
L-A39	660	100	0	0	0	0	0	0	0
L-A42	970	85	13	2	0	0	0	2	0
L-A49	950	89	11	0	0	0	0	2	290
L-A64	1220	47	16	17	7	12	0	2	0
L-A69	1400	58	19	18	5	0	0	3	0
L-A73	1660	52	29	7	8	4	1	3	0
L-A77	370	92	8	0	0	0	0	1	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

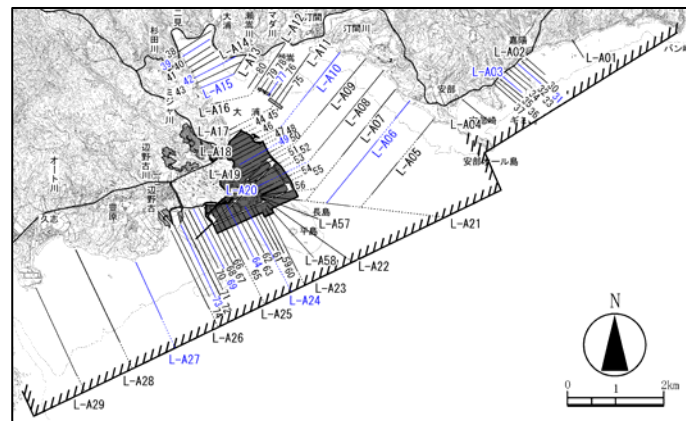
表-6. 15. 1. 22(3) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日

【海草藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	48	4	13	21	13	0	6	0
L-A6	2700	91	0	0	0	0	0	0	580
L-A10	1960	90	10	0	0	0	0	2	660
L-A15	770	94	6	0	0	0	0	3	0
L-A20	1170	54	13	23	10	0	0	5	780
L-A24	1980	59	3	6	20	12	0	7	780
L-A27	1950	72	5	16	5	2	0	5	650
L-A31	700	76	7	14	3	0	0	6	0
L-A39	660	61	20	15	6	0	0	5	0
L-A42	970	54	27	18	2	0	0	7	0
L-A49	950	71	20	9	0	0	0	3	290
L-A64	1220	46	6	15	17	16	0	6	0
L-A69	1400	28	11	15	24	23	0	7	0
L-A73	1660	54	17	10	17	1	0	8	0
L-A77	370	59	27	14	0	0	0	3	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

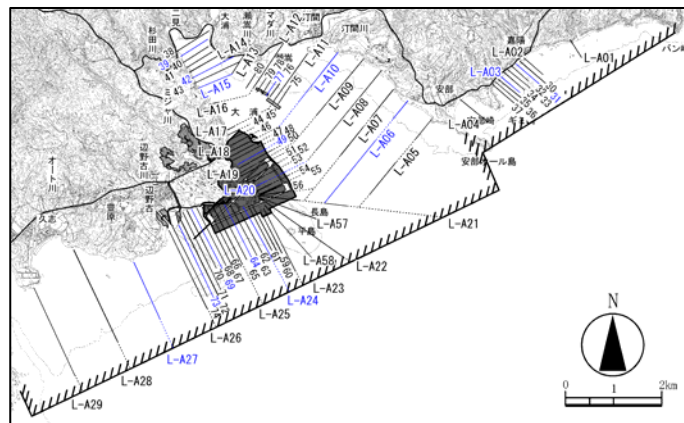
表-6. 15. 1. 22(4) ライン補足調査結果概要 (平成 20 年度、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日

【ホンダワラ藻場】

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A3	520	27	25	15	6	17	10	3	0
L-A6	2700	26	26	11	19	8	1	3	580
L-A10	1960	92	8	0	0	0	0	2	660
L-A15	770	71	29	0	0	0	0	5	0
L-A20	1170	85	5	10	0	0	0	1	780
L-A24	1980	38	25	35	2	0	0	3	780
L-A27	1950	40	15	20	18	7	0	3	650
L-A31	700	26	29	20	4	21	0	3	0
L-A39	660	100	2	0	0	0	0	1	0
L-A42	970	46	48	5	0	0	0	3	0
L-A49	950	98	2	0	0	0	0	1	290
L-A64	1220	43	23	27	7	0	0	3	0
L-A69	1400	50	24	10	14	1	0	3	0
L-A73	1660	42	20	28	7	2	0	3	0
L-A77	370	100	0	0	0	0	0	0	0

注) 潜水目視観察は幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV 調査実施位置(水深 20m 以深の範囲)における藻場の被度は、いずれも 5%未満でした。



《ライン補足調査位置》

※青線で示した 15 測線がライン補足調査位置

表-6. 15. 1. 23 ライン補足調査における海藻草類のライン上スポット調査結果概要
(平成 20 年度)

調査時期：平成 20 年 3 月 29 日～4 月 19 日 (春季)
平成 20 年 10 月 3 日～11 月 6 日 (冬季)

項目	区分	春 季		秋 季	
		調査地点数	全 12 地点に 占める割合 (%)	調査地点数	全 12 地点に 占める割合 (%)
海藻草類の被度	0%	1	8.3	1	8.3
	5%未満	3	25.0	1	8.3
	5～25%	2	16.7	3	25.0
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	3	25.0	4	33.3
	75%以上	3	25.0	3	25.0
海藻草類の出現種類数	0 種類	1	8.3	1	8.3
	1～4 種類	1	8.3	2	16.7
	5～9 種類	1	8.3	0	0.0
	10～19 種類	2	16.7	3	25.0
	20 種類以上	7	58.3	6	50.0
海草藻場の被度	0%	6	50.0	5	41.7
	5%未満	2	16.7	2	16.7
	5～25%	3	25.0	2	16.7
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	0	0.0	2	16.7
	75%以上	1	8.3	1	8.3
海草藻場構成種の出現種類数	0 種類	6	50.0	5	41.7
	1～2 種類	2	16.7	5	41.7
	3～4 種類	3	25.0	1	8.3
	5～6 種類	1	8.3	1	8.3
ホンダワラ藻場の被度	0%	7	58.3	7	58.3
	5%未満	3	25.0	3	25.0
	5～25%	2	16.7	1	8.3
	25～50%	0	0.0	0	0.0
	50～75%	0	0.0	1	8.3
	75%以上	0	0.0	0	0.0
ホンダワラ藻場構成種の出現種類数	0 種類	7	58.3	7	58.3
	1～2 種類	4	33.3	2	16.7
	3～4 種類	1	8.3	3	25.0
海草上の浮泥の堆積状況	無	2	16.7	5	41.7
	少	3	25.0	1	8.3
	多	1	8.3	1	8.3
海草上の付着藻類の状況	無	2	16.7	2	16.7
	少	3	25.0	1	8.3
	多	1	8.3	4	33.3

注) 浮泥、付着藻類の「無」は海藻類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。

表-6. 15. 1. 24(1) ライン補足調査における海藻草類のライン上
スポット調査結果 (平成 20 年、春季)

調査時期：平成 20 年 3 月 29 日～4 月 19 日 (春季)

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	ユレモ科	2
2			-	-	藍藻綱	7
3	紅色植物	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	ソデガラミ	4
4					ヒラガラガラ属	6
5					ガラガラ	3
6					ガラガラ属	2
7			コナハダ	コナハダ	コナハダ属	3
8			サンゴモ	サンゴモ	ホソエダカニノテ	2
9					ヒメモサズキ	3
10					モサズキ属	4
11			ハバリデウム	ハバリデウム	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	9
12			カギケノリ	カギケノリ	カギケノリ	4
13			スギノリ	リュウモンソウ	エツキヒヒロウド	1
14					イバラノリ	6
15					イワノカワ	8
16			オゴノリ	オゴノリ	オゴノリ属	1
17			マサゴシバリ	ワツナギソウ	ワツナギソウ	2
18			フシツナギ	フシツナギ	カイメンソウ	6
19			イギス	イギス	ウブゲグサ属	1
20					ランゲリア	1
21					イギス科	5
22			ダジア	ダジア	ダジア科	1
23			フジマツモ	フジマツモ	トゲノリ	2
24					マクリ	5
25					ソゾ属	3
26					ジャバラノリ	1
27					イトグサ属	3
28	不等毛植物	褐藻	クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	2
29			アミジグサ	アミジグサ	ウラボシヤハズ	1
30					イトアミジ	3
31					アミジグサ属	7
32					ハイオオギ	2
33					アカバウミウチワ	1
34					ウスユキウチワ	3
35					ウミウチワ属	9
36					ジガミグサ	1
37			ナガマツモ	ナガマツモ	オキナワモスク	3
38			カヤモノリ	カヤモノリ	フクロノリ	2
39					カゴメノリ	5
40					ホソカゴメノリ	1
41					モサクダフクロ	2
42			ヒバマタ	ホンダワラ	ヤバネモク	3
43					コバモク	1
44					ホンダワラ属	4
45					カサモク	1
46					ラッパモク	1
47	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオノリ属	1
48			ウキオリソウ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	1
49			シオグサ	シオグサ	タノモグサ	1
50					ジュズモ属	3
51					シオグサ属	1
52			ミドリゲ	アオモグサ	アオモグサ	2
53					マダタマモ	1
54					パロニア	5
55					ムクキッコウグサ	3
56					パロニア属	1
57			イワズタ	イワズタ	ビヤクシンズタ	1
58					センナリスズタ	3
59					ヒラエズタ	1
60					サイハイズタ	2
61					ヨレズタ	2
62					タカノハズタ	1
63					キザミズタ	1
64			ハゴロモ	ハゴロモ	コテンゲノハウチワ	1
65					ハウチワ属	2
66					ウチワサボテングサ	2
67					ミツデサボテングサ	3
68					サボテングサ	2
69					フササボテングサ	3
70					サボテングサ属	4
71					ヒメイチョウ	3
72					ハゴロモ	2
73					ハゴロモ属	2
74			ミル	ミル	モツレミル	1
75			カサノリ	カサノリ	ナガミズタマ	1
76					ミズタマ	5
77					ウスガサネ	2
78					フデノホ	7
79					カサノリ	2
80					リュウキウウガサ	4
81					カサノリ	5
82					ヒナカサノリ	2
83					イソスキナ	6
84	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキウウガサ	4
85					ウミヒルモ	2
86					オオウミヒルモ	4
87					ホソウミヒルモ	1
88			ベニアマモ	ベニアマモ	ニラウミジグサ	2
89					ウミジグサ属	3
90					ベニアマモ	1
91					リュウキウウアマモ	2
92					ボウアマモ	1

表-6. 15. 1. 24(2) ライン補足調査における海藻草類のライン上
スポット調査結果 (平成 20 年、秋季)

調査時期：平成 20 年 10 月 3 日～11 月 6 日 (秋季)

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数			
1	藍色植物	藍藻	-	-	藍藻綱	7			
2	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ソデガラミ	5			
3					ヒラガラガラ属	2			
4					ピロウドガラガラ属	5			
5					ガラガラ	2			
6					サンゴモ	サンゴモ	ホソエダカニノテ	2	
7							モサズキ属	6	
8						ハバリデウム	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	8	
9					テングサ	テングサ	シマテングサ	3	
10							テングサ科	4	
11					スギノリ	イバラノリ	イバラノリ属	4	
12				イワノカワ	イワノカワ科	7			
13			オゴノリ	オゴノリ	オゴノリ属	4			
14			マサゴシバリ	フシツナギ	カイメンソウ	7			
15					テングサモドキ属	2			
16			イギス	イギス	イギス	ウブゲグサ	1		
17						ランゲリア	2		
18						イギスコ	5		
19						ダジア	ダジア科	2	
20						フジマツモ	フジマツモ	トゲノリ	1
21								キクヒオドシ	1
22								ヤナギノリ属	1
23								マクリ	4
24								ソゾ属	4
25								ジャバラノリ	1
26								イトグサ属	2
27								イトクズグサ	2
28								フジマツモ科	2
29								不等毛植物	褐藻
30	アミジグサ属	8							
31	ハイオオギ	6							
32	ウミウチワ属	7							
33	ジガミグサ	2							
34	ヒバマタ	ホンダワラ	ヤバネモク	3					
35			タマキレバモク	2					
36			ホンダワラ属	5					
37			ラッパモク	3					
38			緑色植物	緑藻	シオグサ	ウキオリソウ	6		
39						シオグサ属	1		
40	ミドリゲ	アオモグサ			アオモグサ	1			
41					バロニア	キッコウグサ	2		
42					ムクキッコウグサ	3			
43					オオバロニア	2			
44	イワズタ	イワズタ			ビヤクシンズタ	2			
45					センナリズタ	2			
46					タカツキズタ	1			
47					サイハイズタ	2			
48					ヨレズタ	3			
49					タカノハズタ	1			
50					キザミズタ	1			
51					イワズタ属	1			
52					ハゴロモ	ハゴロモ	コテングノハウチワ	1	
53							ハウチワ属	1	
54							ウチワサボテングサ	1	
55							ミツデサボテングサ	1	
56			サボテングサ	5					
57	フササボテングサ	1							
58	ヒメイチョウ	2							
59		ハゴロモ属	1						
60	カサノリ	カサノリ	ダジクラズ	3					
61			ウスガサネ	2					
62			フデノホ	9					
63			リュウキュウガサ	2					
64			カサノリ	2					
65			イソスギナ	1					
66	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	5				
67				ウミヒルモ	2				
68				オオウミヒルモ	2				
69				ベニアマモ	2				
70				ニラウミジグサ	2				
71				ベニアマモ	1				
72				リュウキュウアマモ	2				
				ボウバアマモ	2				

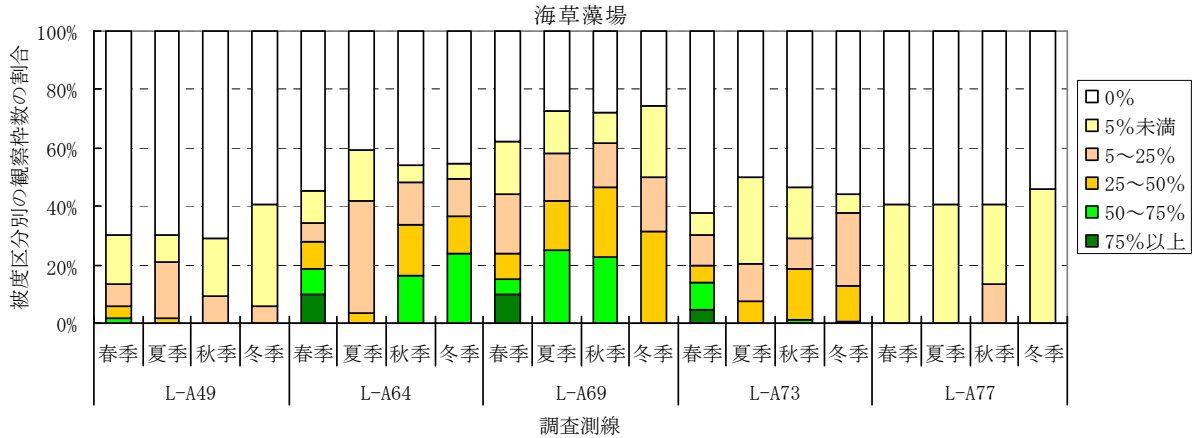
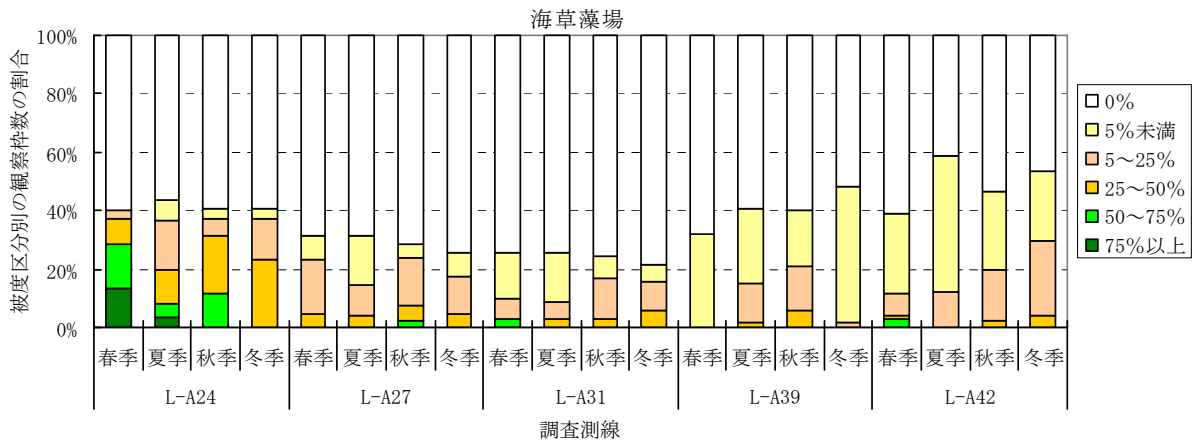
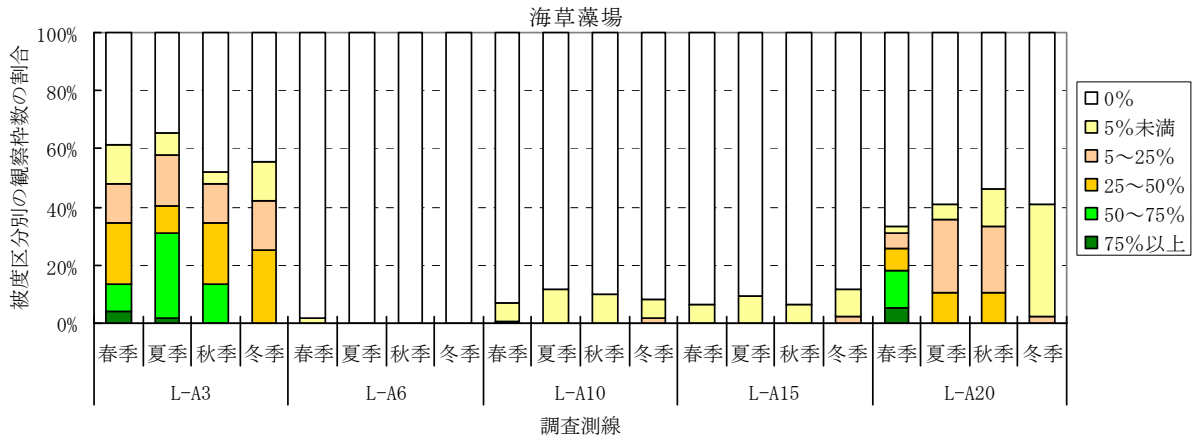


図-6.15.1.25 各調査測線における海草藻場の被度の変化（平成20年度）

- 注) 1. 各測線の潜水目視観察枠数（幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施）に占める、藻場が確認された観察枠数の割合を被度区分別に示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日（春季）、平成20年7月4日～8月26日（夏季）、平成20年10月3日～11月7日（秋季）、平成20年12月11日～平成21年1月26日（冬季）

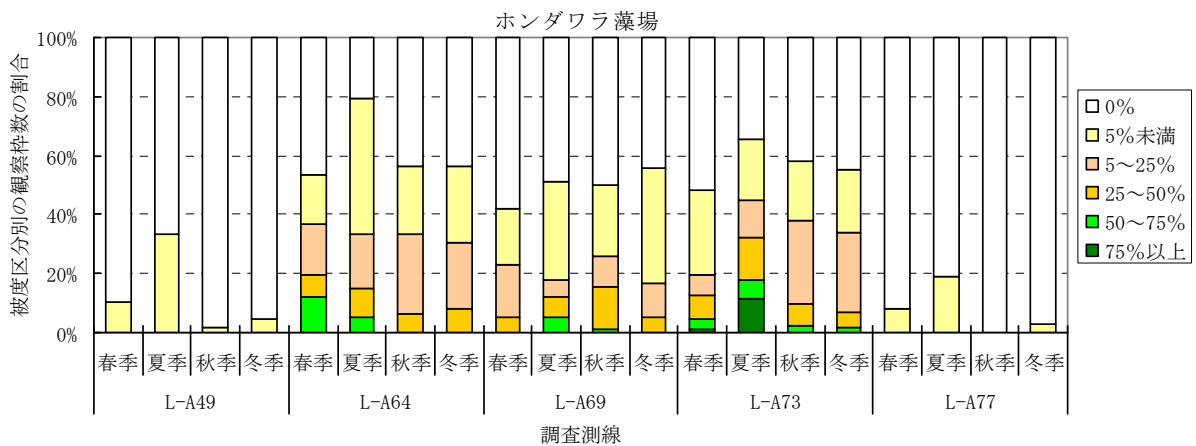
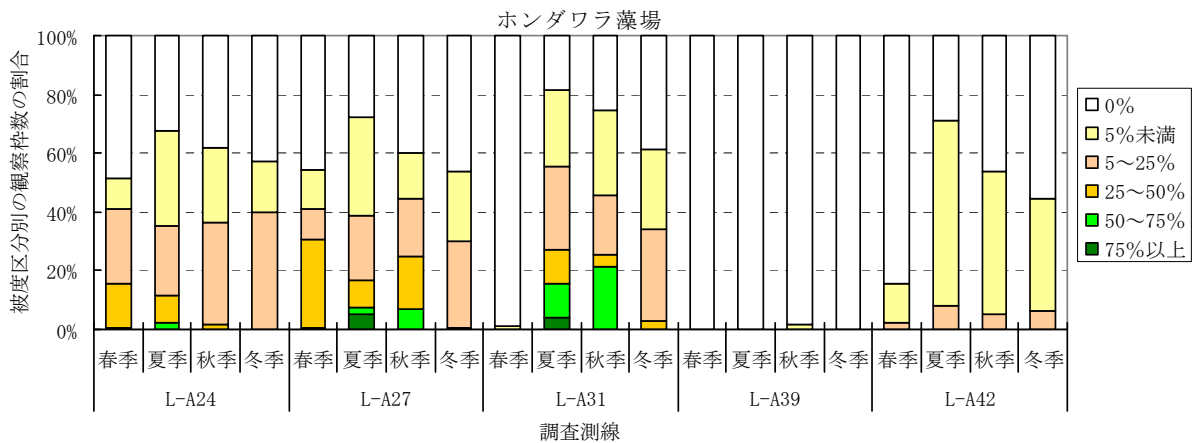
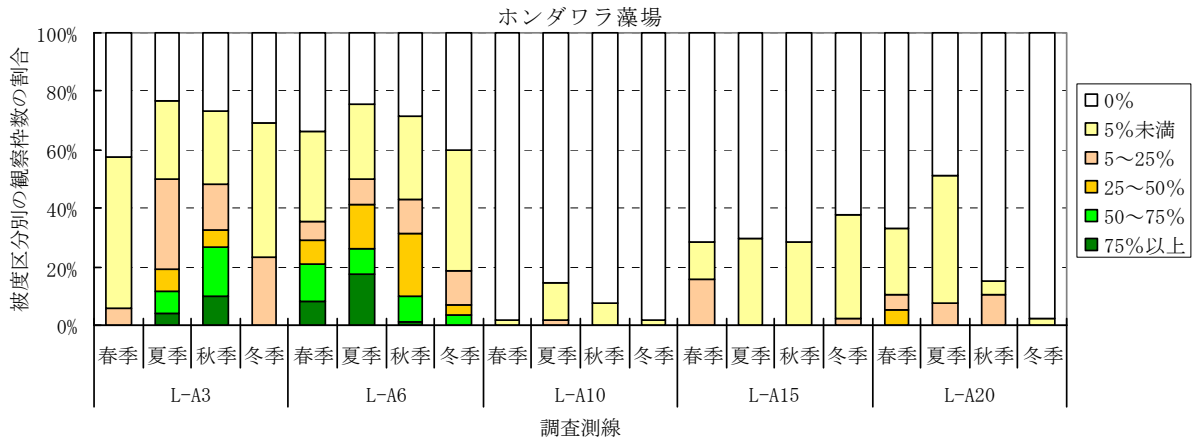


図-6. 15. 1. 26 各調査測線におけるホンダワラ藻場の被度の変化（平成 20 年度）

注) 1. 各測線の潜水目視観察枠数（幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施）に占める、藻場が確認された観察枠数の割合を被度区別に示しています。

2. 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日（春季）、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日（夏季）、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日（秋季）、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日（冬季）

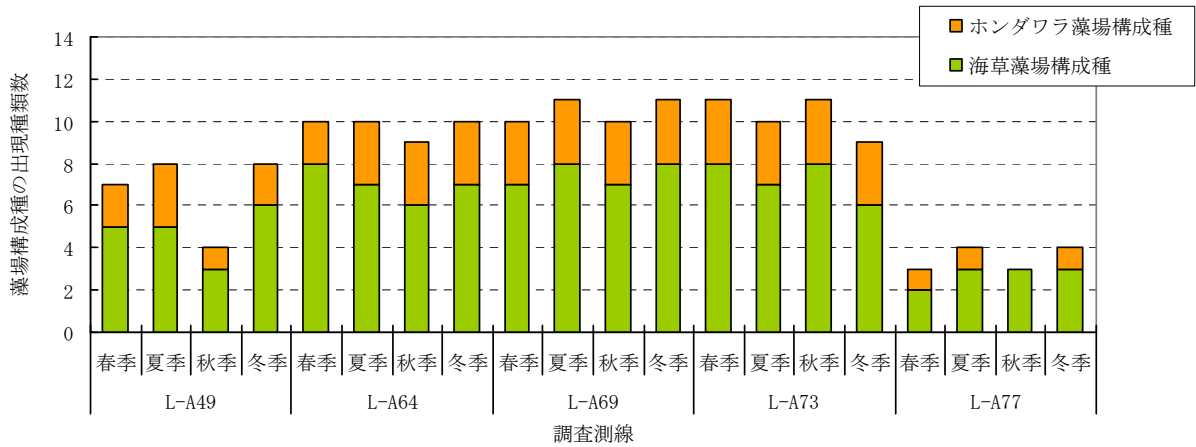
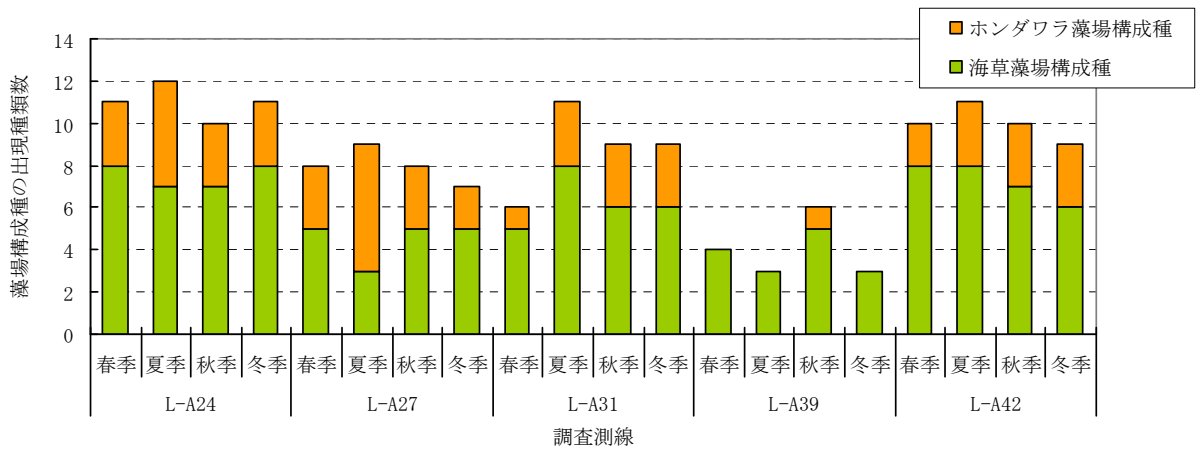
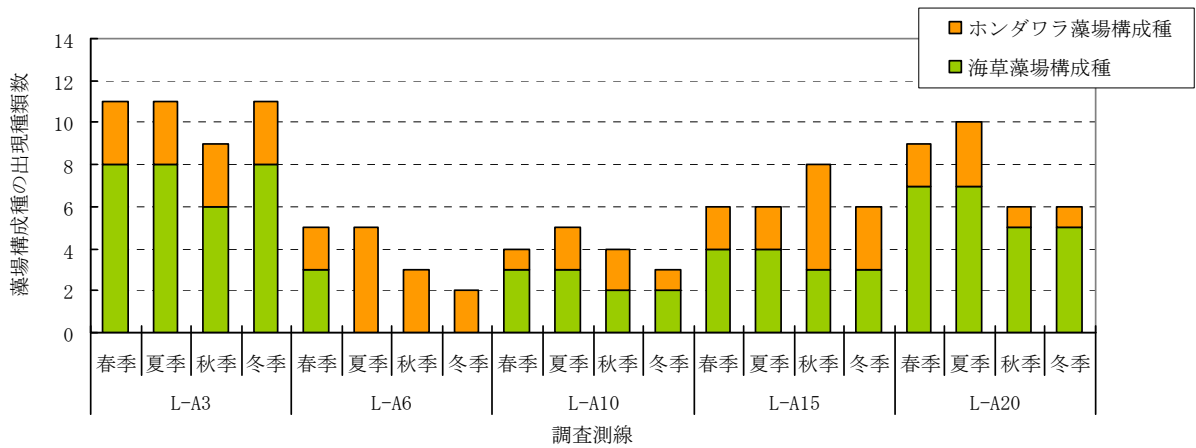


図-6. 15. 1. 27 各調査測線における藻場構成種の出現種類数の変化（平成20年度）
 注）調査時期：平成20年3月23日～4月19日（春季）、平成20年7月4日～8月26日（夏季）、平成20年10月3日～11月7日（秋季）、平成20年12月11日～平成21年1月26日（冬季）

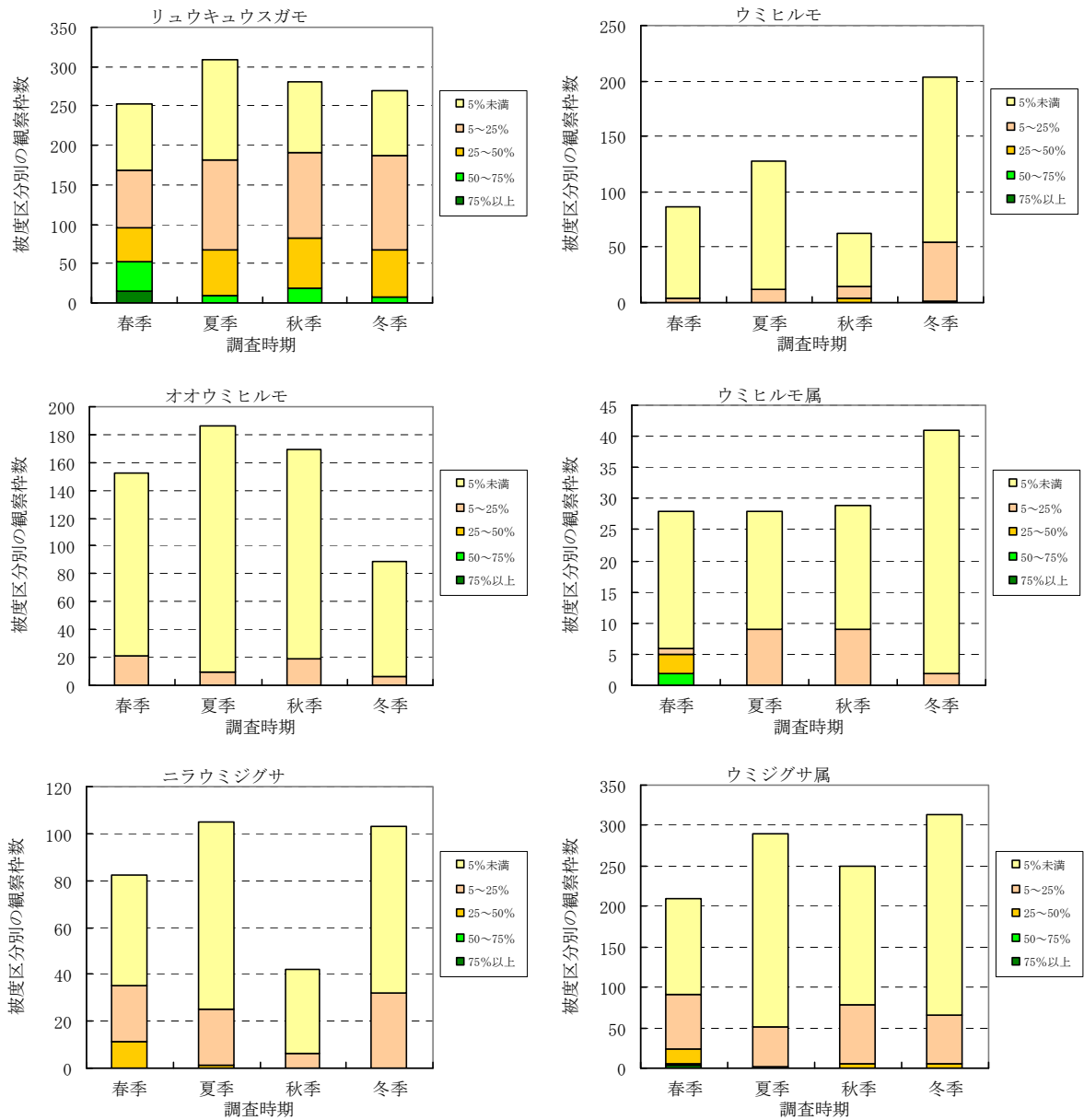


図-6. 15. 1. 28(1) 調査測線における海草藻場構成種の出現状況 (平成 20 年度)

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全 15 測線において、藻場構成種各種が出現した観察株数 (調査測線上の幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施) を被度区別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日 (春季)、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日 (夏季)、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日 (秋季)、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日 (冬季)

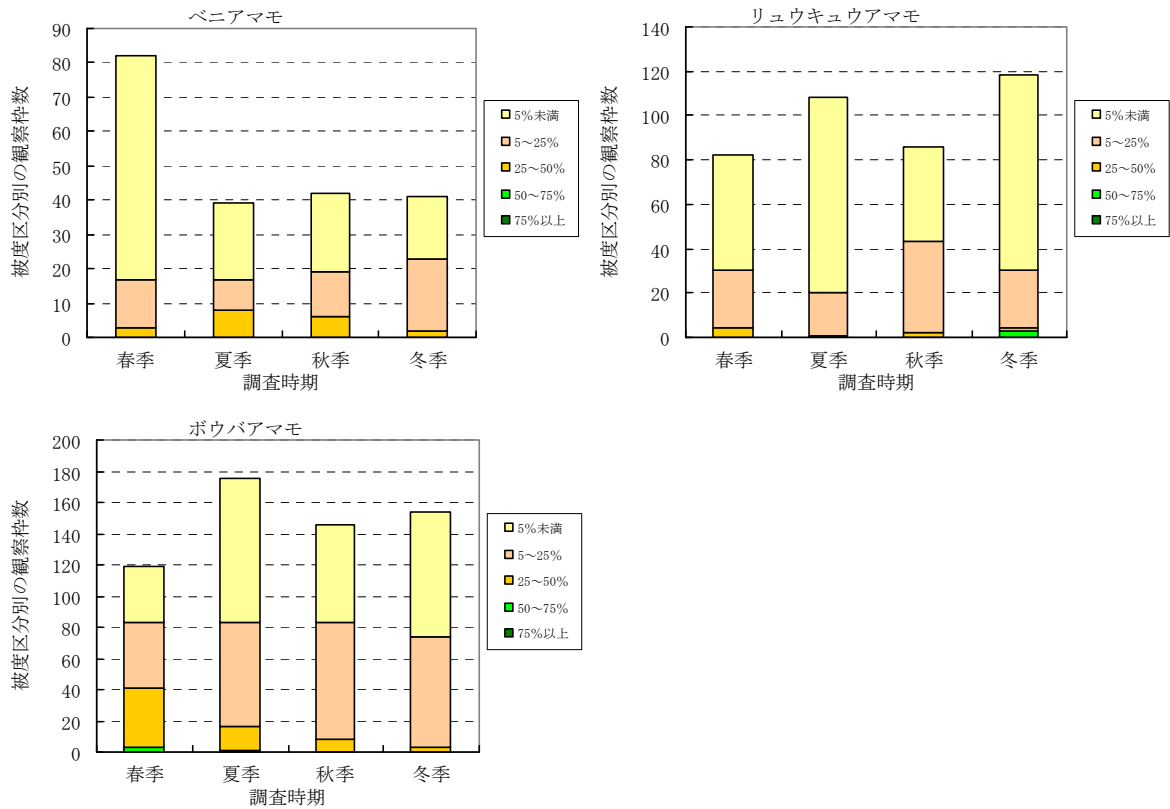


図-6. 15. 1. 28(2) 調査測線における海草藻場構成種の出現状況（平成20年度）

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全15測線において、藻場構成種各種が出現した観察枠数（調査測線上の幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施）を被度区別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日（春季）、平成20年7月4日～8月26日（夏季）、平成20年10月3日～11月7日（秋季）、平成20年12月11日～平成21年1月26日（冬季）

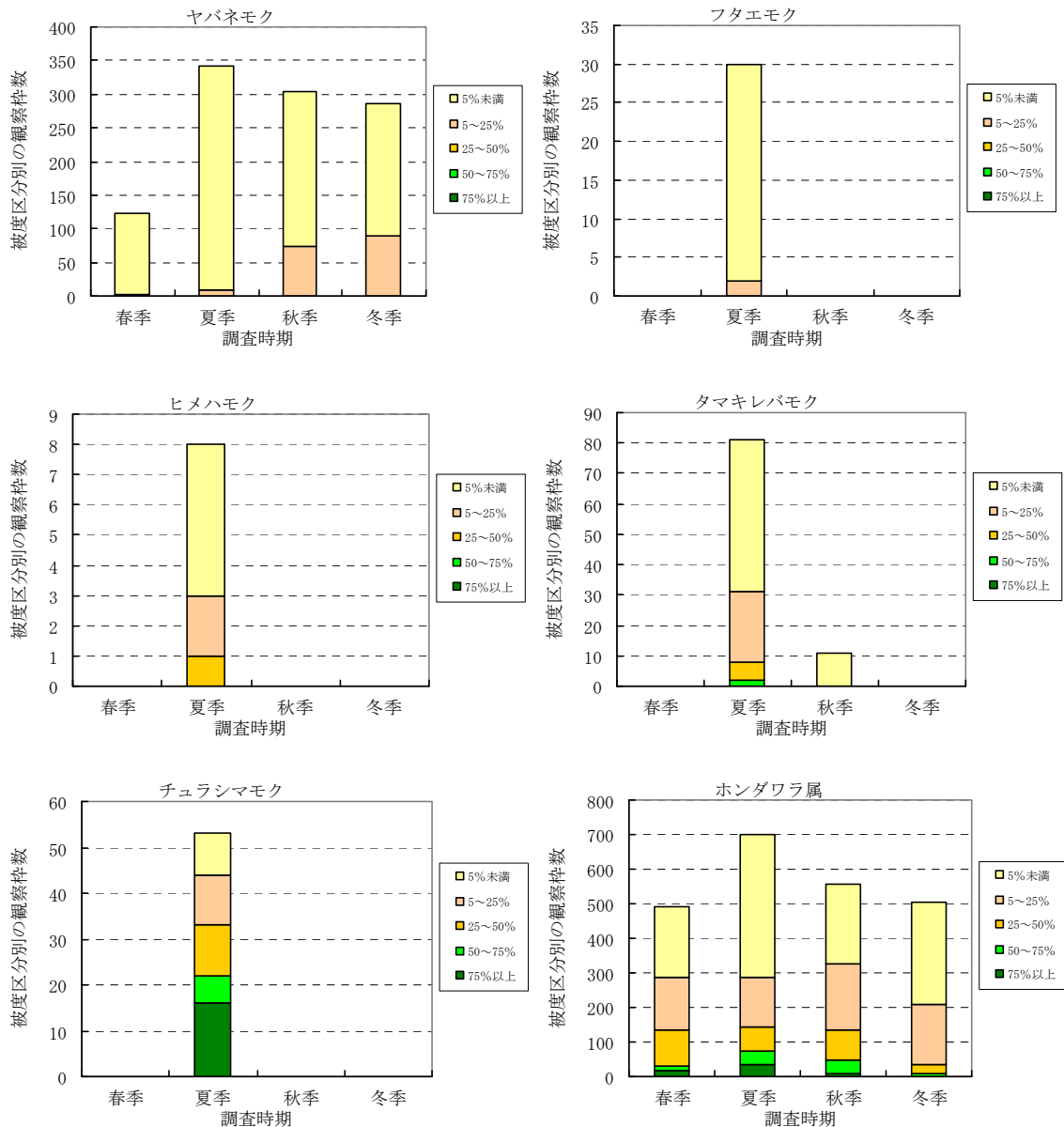


図-6. 15. 1. 29(1) 調査測線におけるホンダワラ藻場構成種の出現状況(平成20年度)

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全15測線において、藻場構成種各種が出現した観察株数(調査測線上の幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施)を被度区分別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成20年3月23日～4月19日(春季)、平成20年7月4日～8月26日(夏季)、平成20年10月3日～11月7日(秋季)、平成20年12月11日～平成21年1月26日(冬季)

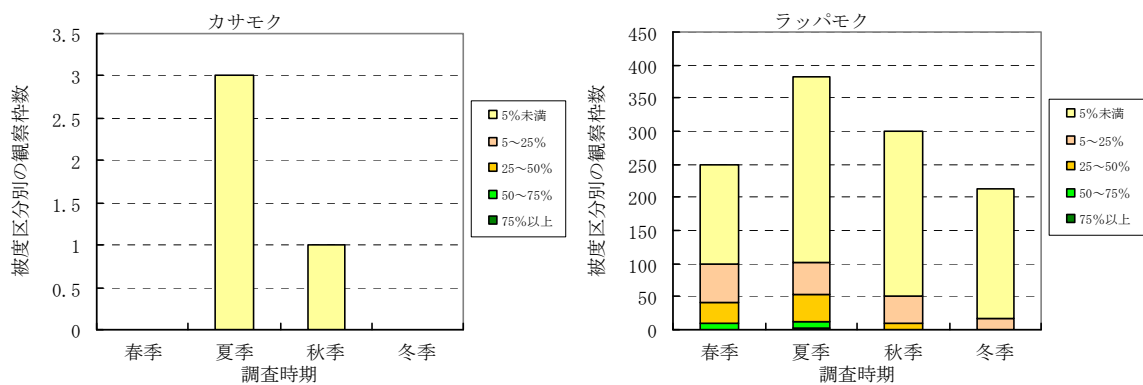


図-6. 15. 1. 29(2) 調査測線におけるホンダワラ藻場構成種の出現状況(平成 20 年度)

- 注) 1. ライン調査及びライン補足調査の対象とした全 15 測線において、藻場構成種各種が出現した観察枠数(調査測線上の幅 10m、距離 10m もしくは 30m の枠を 1 単位として実施)を被度区分別に集計した値を示しています。
2. 調査時期：平成 20 年 3 月 23 日～4 月 19 日(春季)、平成 20 年 7 月 4 日～8 月 26 日(夏季)、平成 20 年 10 月 3 日～11 月 7 日(秋季)、平成 20 年 12 月 11 日～平成 21 年 1 月 26 日(冬季)

d) スポット調査

スポット調査結果の概要を表-6.15.1.25に、夏季及び冬季のスポット調査結果を表-6.15.1.26及び表-6.15.1.27に示します。

各調査地点における海藻草類全体の被度は、全 120 調査地点の内 117 地点において被度 5%以上を示し、約半数の地点（夏季で 57 地点、冬季で 60 地点）において被度 50%以上を示しました。また、出現種類数は夏季、冬季共に 20 種類以上の調査地点の割合が最も高く、全調査地点（120 地点）合計の出現種類数は夏季（135 種類）に比べて冬季（169 種類）に多くなっていました。出現地点数が多かった海藻草類は、夏季、冬季共に緑藻綱のフデノホ（夏季 109 地点、冬季 106 地点）、褐藻綱のハイオオギ（夏季 101 地点、冬季 100 地点）などでした。

海草藻場については、被度 5%以上の藻場が確認されたのは夏季に 29 地点、冬季に 24 地点でした。被度区分別の調査地点数では夏季に被度 50%以上の地点が 5 地点みられたものの、冬季にはみられませんでした。全調査地点合計の海草藻場構成種（ベニアマモ科及びトチカガミ科の種）の出現種類数は夏季で 9 種類、冬季で 12 種類であり、海草類がみられた地点の中では夏季、冬季ともに 1~2 種類の調査地点が 17 地点と最も多く、3~4 種類、5~6 種類と徐々に出現種類数は少なくなっていました。出現地点数が多かった種類は、夏季ではリュウキュウスガモ（21 地点）、ボウバアマモ（19 地点）、冬季ではウミヒルモ（21 地点）、リュウキュウスガモ（20 地点）などでした。

ホンダワラ藻場についてみると、被度 5%以上の藻場が確認されたのは夏季に 39 地点、冬季に 28 地点でした。さらに、被度 50%以上の地点が夏季では 6 地点みられたものの、冬季にはみられず、ホンダワラ藻場構成種（ホンダワラ科の種）の出現種類数も夏季の方が多い傾向にありました。全調査地点合計の出現種類数は夏季 7 種類、冬季 6 種類であり、出現地点数が多かった種類は、夏季ではラッパモク（45 地点）、タマキレバモク（42 地点）、冬季ではラッパモク（38 地点）、ヤバネモク（31 地点）などでした。

海草上の浮泥の堆積状況及び付着藻類の状況についての調査は海草類が確認された夏季（37 地点）、冬季（38 地点）で行いました。浮泥の堆積が比較的多かった地点は夏季で 15 地点、冬季で 11 地点であり、付着藻類が比較的多かった地点は夏季で 9 地点、冬季で 16 地点でした。

表-6. 15. 1. 25 海藻草類のスポット調査結果概要（平成20年度）

調査時期：平成20年8月8日～30日（夏季）

平成20年12月2日～平成21年1月26日（冬季）

項目	区分	夏季		冬季	
		調査地点数	全120地点に占める割合(%)	調査地点数	全120地点に占める割合(%)
海藻草類の被度	0%	0	0.0	0	0.0
	5%未満	3	2.5	2	1.7
	5～25%	29	24.2	24	20.0
	25～50%	31	25.8	34	28.3
	50～75%	31	25.8	42	35.0
	75%以上	26	21.7	18	15.0
海藻草類の出現種類数	0種類	0	0.0	0	0.0
	1～4種類	2	1.7	0	0.0
	5～9種類	4	3.3	3	2.5
	10～19種類	32	26.7	17	14.2
	20種類以上	82	68.3	100	83.3
海草藻場の被度	0%	83	69.2	82	68.3
	5%未満	8	6.7	14	11.7
	5～25%	18	15.0	15	12.5
	25～50%	6	5.0	9	7.5
	50～75%	3	2.5	0	0.0
	75%以上	2	1.7	0	0.0
海草藻場構成種の出現種類数	0種類	83	69.2	82	68.3
	1～2種類	17	14.2	17	14.2
	3～4種類	14	11.7	13	10.8
	5～6種類	5	4.2	5	4.2
	7～8種類	1	0.8	3	2.5
ホンダワラ藻場の被度	0%	36	30.0	38	31.7
	5%未満	45	37.5	54	45.0
	5～25%	24	20.0	27	22.5
	25～50%	9	7.5	1	0.8
	50～75%	5	4.2	0	0.0
	75%以上	1	0.8	0	0.0
ホンダワラ藻場構成種の出現種類数	0種類	36	30.0	38	31.7
	1～2種類	45	37.5	64	53.3
	3～4種類	39	32.5	17	14.2
	5～6種類	0	0.0	1	0.8
海草上の浮泥の堆積状況	無	8	6.7	8	6.7
	少	14	11.7	19	15.8
	多	15	12.5	11	9.2
海草上の付着藻類の状況	無	2	1.7	1	0.8
	少	26	21.7	21	17.5
	多	9	7.5	16	13.3

注) 浮泥、付着藻類の「無」は海草類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。

表-6. 15. 1. 26 海藻草類のスポット調査結果(平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年8月8日～8月30日

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現地点数	No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現地点数
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	<i>Lyngbya</i> 属	11	67	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオノリ属	4
2					ユレモ科	4	68			シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	64
3					藍藻綱	107	69					アミモヨウ	6
4	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ツバガラミ	72	70					タノモグサ	10
5					ヒラガラガラ属	61	71			シオグサ	シオグサ属	タノモグサ	59
6					ヒコウダガラガラ属	8	72			アオモグサ	アオモグサ	ハネアオモグサ	18
7					ガラガラ	3	73	ミドリゲ				マカタマモ	6
8					ガラガラ属	21	74					マカタマモ	5
9					コナハダ	3	75					ミドリゲ属	1
10					ウミノウメン	1	76			パロニア	キッコウグサ	キッコウグサ	45
11					サンゴモ	5	77					ムクキッコウグサ	48
12						27	78					タマパロニア	1
13						10	79					タマゴパロニア	3
14						1	80					パロニア属	10
15						3	81					オオパロニア	16
16						76	82						
17						9	83	イワスタ	イワスタ	ヘライワスタ	ヘライワスタ	ヘライワスタ	2
18						106	84					ビヤクシズタ	21
19						23	85					ヒメシズタ	2
20						12	86					クビレズタ	2
21						61	87					スズカケズタ	1
22						2	88					センナリズタ	21
23						1	89					ヒラエズタ	8
24						1	90					タカツキズタ	13
25						1	91					サイハイズタ	26
26						1	92					ヨレズタ	51
27						1	93					タカノハズタ	26
28						2	94					キザミズタ	7
29						12	95					イチイズタ	8
30						8	96					コケイワスタ	1
31						63	97					リュウキュウズタ	1
32						6	98					イワスタ属	9
33						1	99					コテンノハウチワ	2
34						1	100					マルバハウチワ	1
35						3	101					ハウチワ属	13
36						7	102					マユハキモ	6
37						60	103					マユハキモ属	6
38						11	104					ウチワサボテングサ	27
39						6	105					ミツサボテングサ	20
40						15	106					ヒロハサボテングサ	9
41						2	107					サボテングサ	33
42						54	108					フササボテングサ	8
43						3	109					サボテングサ属	43
44						37	110					ニセハウチワ属	6
45						7	111					ヒメイチヨウ	33
46						6	112					ハゴロモ	15
47						20	113					ハゴロモ属	1
48						15	114					ナンバンハイミル	6
49	不等毛植物	褐藻	クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	14	115	ミル	ミル	ナンバンハイミル	ナンバンハイミル	モツレミル	1
50			アマジグサ	アマジグサ	ウラボシキハズ	21	116					ミル属	15
51						2	117	ハネモ	ハネモ	カタハノハネモ	カタハノハネモ	カタハノハネモ	8
52						25	118					ハネモ属	3
53						102	119	カサノリ	ダジクラズ	ナガミズタマ	ナガミズタマ	ナガミズタマ	4
54						101	120					ミスタマ	54
55						56	121					ウスガサネ	17
56						46	122					フデノホ	109
57						20	123					リュウキュウガサ	51
58						3	124					カサノリ	15
59						1	125					ハナレガサ	3
60						37	126					ヒナカサノリ	6
61						7	127	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキュウスガモ	21
62						1	128					ウミヒルモ	14
63						42	129					オオウミヒルモ	10
64						60	130					ホソウミヒルモ	1
65						3	131					ニラウミジグサ	10
66						45	132					ウミジグサ属	18
							133					ベニアマモ	3
							134					リュウキュウアマモ	10
							135					ポウバアマモ	19

表-6. 15. 1. 27 海藻草類のスポット調査結果(平成20年度、冬季)

調査時期：平成20年12月2日～平成21年1月26日

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数	No.	門名	綱名	目名	科名	和名	出現 地点数								
1	藍色植物	藍藻	ネンジュモ	ヒゲモ	ヒゲモ科	1	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオサ	アオサ属	6								
2			ユレモ	ユレモ	ユレモ科	6				シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	64							
3			-	-	藍藻綱	3				-	-	-	アミモヨウ	7							
4			-	-	-	117				-	-	-	タノモグサ	23							
5	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ソデガラミ	70	シオグサ	シオグサ	アオモグサ	アオモグサ	アオモグサ	アオモグサ属	58								
6					シマソデガラミ	3				シオグサ	アオモグサ	アオモグサ属	2								
7					ヒラガラガラ	53				ミドリゲ	アオモグサ	ハネアオモグサ	1								
8					ウスバガラガラ	1				アオモグサ	アオモグサ属	1									
9					ピロウドガラガラ	17				アオモグサ	アオモグサ属	1									
10					ガラガラ	13				マガタマモ	マガタマモ	マガタマモ	11								
11					ガラガラ	11				マダラ	マダラ	マダラ	2								
12					コナハダ	14				マダラ	マダラ	マダラ	2								
13					ウミノウメン	1				マダラ	マダラ	マダラ	2								
14					サンゴモ	サンゴモ				ハヤカニノテ	ハヤカニノテ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	13		
15											ホソエダカニノテ	25				イワズタ	イワズタ	イワズタ属	3		
16			カニノテ	12			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		2										
17			ヒメシコロ	1			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		1										
18			ハネヒメシコロ	1			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		1										
19			ヒメモサズキ	2			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		18										
20			モサズキ	86			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		25										
21			イシノハナ	4			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		2										
22			サビ亜科(無節サンゴモ類)	116			イワズタ	イワズタ	イワズタ属		3										
23			テングサ	テングサ			シマテングサ	シマテングサ	32		イワズタ	イワズタ				イワズタ属	12				
24								ハイテングサ	1		イワズタ	イワズタ				イワズタ属	1				
25								テングサ	13		イワズタ	イワズタ				イワズタ属	10				
26								テングサ科	62		イワズタ	イワズタ				イワズタ属	2				
27			カギケノリ	カギケノリ			カギケノリ	カギケノリ	2		イワズタ	イワズタ				イワズタ属	22				
28					リュウモンソウ	1		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	9										
29					ムカデノリ	1		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	1										
30					キントキ	2		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	16										
31					イバラノリ	60		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	16										
32					ヒカゲノイト	1		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	52										
33					イワノカワ	2		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	11										
34					イワノカワ科	105		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	10										
35					ユカリ	4		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	14										
36					ホソバナミノハナ	10		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	7										
37					スギノ目	3		イワズタ	イワズタ	イワズタ属	2										
38			オゴノリ	オゴノリ	オゴノリ	オゴノリ	23	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	3										
39						ワツナギソウ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	13										
40						ワツナギソウ	7	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	12										
41						ワツナギソウ	14	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	6										
42						フシツナギ	72	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	32										
43						テングサモドキ	5	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	19										
44						テングサモドキ	49	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	17										
45						マサゴシバリ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	74										
46						イギス	2	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	5										
47						ヨツノサデ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	31										
48						ウブゲサ	3	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	24										
49			ランゲリア	12	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	2													
50	イギス科	64	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	2															
51	ダジア	ダジア	ダジア	ダジア	8	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	21												
52				ダジア科	17	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	5												
53	コノハノリ	コノハノリ	カラゴロモ	カラゴロモ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	22												
54				コノハノリ科	2	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	4												
55	フジマツモ	フジマツモ	トゲノリ	トゲノリ	17	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	55												
56				キクヒオドシ	32	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	32												
57				ヤナギノリ	29	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	106												
58				マクリ	55	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	7												
59				クモノスヒメゴケ	4	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	61												
60				ヒメゴケ	15	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	31												
61				ソノノハナ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	2												
62				ナンカイソウ	2	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	2												
63				ソソ	39	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	7												
64				ジャバラノリ	25	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	24												
65				ヨレミグサ	1	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	20												
66	イトクサ	27	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	21															
67	イトクサ	21	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	3															
68	フジマツモ科	8	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	3															
69	-	-	紅藻綱	43	イワズタ	イワズタ	イワズタ属	12													
70	不等毛植物	褐藻	シオミドロ	シオミドロ	シオミドロ科	11	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキュウスガモ	リュウキュウスガモ	21								
71					クロガシラ	15					ウミヒルモ	ウミヒルモ	ウミヒルモ	20							
72					ウラボシ	35					オオウミヒルモ	オオウミヒルモ	オオウミヒルモ	3							
73					アマミジ	3					ホソウミヒルモ	ホソウミヒルモ	ホソウミヒルモ	3							
74					イトアミジ	8					ニラウミジ	ニラウミジ	ニラウミジ	12							
75					アマミジ	101					ホソバウミジ	ホソバウミジ	ホソバウミジ	2							
76					ハイオオギ	100					マツバウミジ	マツバウミジ	マツバウミジ	6							
77					ハイオオギ	5					マツバウミジ	マツバウミジ	マツバウミジ	6							
78					ウスバウミウチ	4					マツバウミジ	マツバウミジ	マツバウミジ	2							
79					アカバウミウチ	11					マツバウミジ	マツバウミジ	マツバウミジ	3							
80					ウスユキウチ	70					マツバウミジ	マツバウミジ	マツバウミジ	3							
81			ウミウチ	39	マツバウミジ	マツバウミジ					マツバウミジ	12									
82			ジガミ	29	マツバウミジ	マツバウミジ					マツバウミジ	5									
83			シマオオギ	4	マツバウミジ	マツバウミジ					マツバウミジ	8									
84			エツキシマオオギ	13	マツバウミジ	マツバウミジ					マツバウミジ	18									
85			ナガマツモ	ナガマツモ	オキナワモク	オキナワモク					12	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	12			
86						ムラチドリ					1				ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	2			
87						カヤモノリ					6				ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	6			
88						カゴメノリ					10				ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	2			
89						モサクダフクロ					1				ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	2			
90						ヒバマタ					ホンダワラ				ヤバネモク	ヤバネモク	31	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	8
91																アツバモク	3	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	18
92																フタエモク	2	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	8
93																タマキレバモク	21	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	8
94																ホンダワラ	55	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	8
95																ラッパモク	38	ベニアマモ	ベニアマモ	ベニアマモ	18

e) 海草類の生育量調査

海草類の生育量調査結果の概要を表-6.15.1.28に示します。

生育量調査では8種類の海草類が採取され、乾燥重量は全24調査地点の合計で夏季に約214g/0.25m²、冬季に約134g/0.25m²、1地点あたりの平均ではそれぞれ約8.9g/0.25m²、約5.6g/0.25m²でした。

最も多くの調査地点で採取された海草類はリュウキュウスガモであり、乾燥重量の合計についてもリュウキュウスガモが約70g/0.25m²と最も大きい値を示しました。一方、ウミヒルモは9地点で、オオウミヒルモは7地点でそれぞれ採取されたものの、乾燥重量の合計はともに1g/0.25m²未満と低い値でした。

上記の結果のうち、最大繁茂季である夏季の結果を用いて、海草類の生育量を推定しました。

まず、各調査地点における生育被度と乾燥重量の関係を整理した結果、両者の間には図-6.15.1.30に示すとおり比較的良好な相関関係が認められたことから、ここで得られた一次回帰式 ($y=0.169x$ 、 x ：生育被度(%)、 y ：乾燥重量(g/0.25m²))を用いて、生育被度から乾燥重量を算定しました。

乾燥重量は辺野古地先、大浦湾及び嘉陽地先の各海域における生育被度区分ごとの面積に応じて算定しました。算定結果は表-6.15.1.29に示すとおりとなり、海草類の生育量(乾燥重量)は辺野古地先で約75.9t、大浦湾で約11.5t、嘉陽地先で約9.5t、全域で約96.9tと推定されました。

表-6.15.1.28(1) 海草類の生育量調査結果 (夏季)

調査時期：平成20年7月2日

単 位：g/0.25m²(乾燥重量)

No.	和名	St. AG1	St. AG2	St. AG3	St. AG4	St. AG5	St. AG6	St. AG7	St. AG8
1	ニラウミジグサ		0.601	1.720	1.133	2.945	2.520	3.336	5.276
2	ウミジグサ属	1.383		0.242		0.074			0.052
3	リュウキュウアマモ	16.573	0.125	0.160					
4	ベニアマモ		2.578						
5	ボウバアマモ	0.125	0.178	1.395			4.163	4.951	1.287
6	リュウキュウスガモ		3.769	3.358	6.728	7.212	4.946	11.147	1.477
7	ウミヒルモ	0.015	0.015		0.002			0.028	
8	オオウミヒルモ	0.491	0.015		+			0.012	0.033
合 計		18.587	7.281	6.875	7.863	10.231	11.629	19.474	8.125
海草類の生育被度(%)		80	55	70	65	75	80	85	75

No.	和名	St. AG9	St. AG10	St. AG11	St. AG12	St. AG13	St. AG14	St. AG15	St. AG16
1	ニラウミジグサ		6.253	30.122	4.234				
2	ウミジグサ属	2.630	0.170	0.030	0.179			0.019	0.001
3	リュウキュウアマモ							11.301	7.225
4	ベニアマモ								
5	ボウバアマモ							0.248	8.125
6	リュウキュウスガモ		1.357		7.448	3.555	4.790		
7	ウミヒルモ	0.506	+	0.010		0.207	0.019		
8	オオウミヒルモ		0.012						
合 計		3.136	7.792	30.162	11.861	3.762	4.809	11.568	15.351
海草類の生育被度(%)		55	50	85	50	35	30	65	75

No.	和名	St. AG17	St. AG18	St. AG19	St. AG20	St. AG21	St. AG22	St. AG23	St. AG24	合計
1	ニラウミジグサ			1.205		4.070				63.415
2	ウミジグサ属							2.802		7.582
3	リュウキュウアマモ				5.193	0.939				41.516
4	ベニアマモ			0.402		0.039				3.019
5	ボウバアマモ				0.987	1.728				23.187
6	リュウキュウスガモ	4.246	4.071	3.985		0.818	3.689		1.531	74.127
7	ウミヒルモ									0.802
8	オオウミヒルモ					0.121				0.684
合 計		4.246	4.071	5.592	6.180	7.715	3.689	2.802	1.531	214.332
海草類の生育被度(%)		35	30	40	40	40	25	70	20	-

注) 1. 50cm×50cmの方形枠内における海草類の葉部を採取し、乾燥重量を測定しました。

2. 「+」は0.001g/0.25 m²未満であることを示しています。

表-6. 15. 1. 28(2) 海草類の生育量調査結果概要 (冬季)

調査時期：平成 21 年 1 月 19、21 日

単 位：g/0.25m²(乾燥重量)

No.	和 名	St. AG1	St. AG2	St. AG3	St. AG4	St. AG5	St. AG6	St. AG7	St. AG8
1	ニラウミジグサ	0.025	1.979	0.846	3.184	1.169	0.581	0.404	1.172
2	ウミジグサ属	1.287	0.016	0.280		0.091		+	0.013
3	リュウキュウアマモ	0.622	0.759	0.122	1.514				
4	ベニアマモ	0.605	0.725	0.326		0.047			
5	ボウバアマモ	1.387	1.838	0.472			0.339	0.033	
6	リュウキュウスガモ	3.426	5.353	4.450	10.332	3.954	5.226	5.109	0.393
7	ウミヒルモ	0.087	0.067	+	0.025			+	0.254
8	オオウミヒルモ	0.045			0.069				
合 計		7.484	10.737	6.496	15.124	5.261	6.146	5.546	1.832
海草類の生育被度(%)		65	75	60	80	55	55	55	35

No.	和 名	St. AG9	St. AG10	St. AG11	St. AG12	St. AG13	St. AG14	St. AG15	St. AG16
1	ニラウミジグサ	3.168	1.641	8.294	2.648			2.046	2.512
2	ウミジグサ属	1.086	0.101	0.105	0.041			0.015	0.230
3	リュウキュウアマモ	1.497						0.670	3.472
4	ベニアマモ								
5	ボウバアマモ		0.013		0.007			1.039	3.032
6	リュウキュウスガモ	0.777	0.214		3.177	4.439	4.681	0.009	
7	ウミヒルモ	+	0.031	0.046		0.202	0.071	+	+
8	オオウミヒルモ	0.002	0.199						
合 計		6.530	2.199	8.445	5.873	4.641	4.752	3.779	9.246
海草類の生育被度(%)		50	30	70	30	15	20	45	80

No.	和 名	St. AG17	St. AG18	St. AG19	St. AG20	St. AG21	St. AG22	St. AG23	St. AG24	合計
1	ニラウミジグサ			0.191	0.188	0.725				30.773
2	ウミジグサ属				+	0.017		2.162		5.444
3	リュウキュウアマモ				0.533	2.282	3.478			14.949
4	ベニアマモ			1.399		0.628				3.730
5	ボウバアマモ			0.065	2.036	0.989	0.091			11.341
6	リュウキュウスガモ	3.104	3.631	5.435	0.174		1.425		1.391	66.700
7	ウミヒルモ							+		0.783
8	オオウミヒルモ					0.035				0.350
合 計		3.104	3.631	7.090	2.931	4.676	4.994	2.162	1.391	134.070
海草類の生育被度(%)		20	20	45	35	40	35	15	5	-

注) 1. 50cm×50cm の方形枠内における海草類の葉部を採取し、乾燥重量を測定しました。

2. 「+」は 0.001g/0.25 m²未満であることを示しています。

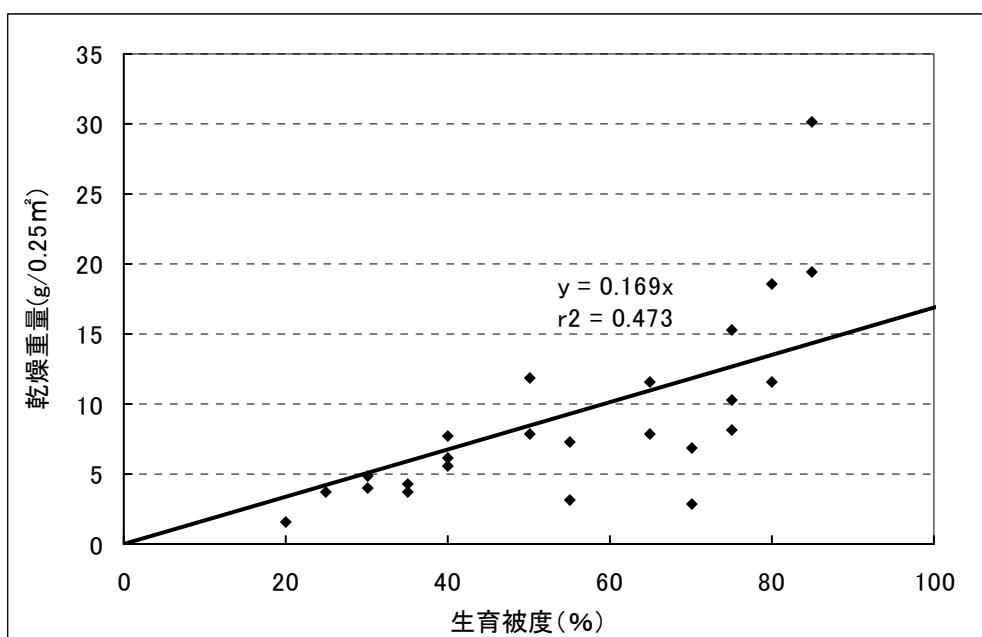


図-6.15.1.30 夏季の生育量調査結果に基づく海草類の生育被度と乾燥重量の関係

表-6.15.1.29 海草類の生育量の算定結果

生育被度区分	海域別海草類面積 (ha)				単位面積あたりの乾燥重量【D、kg/ha】
	辺野古地先【A】	大浦湾【B】	嘉陽地先【C】	全 域【A+B+C】	
5~25%	339.5	83.5	22.0	445.0	101.4
25~50%	131.5	7.0	14.0	152.5	253.5
50~75%	13.7	1.9	6.8	22.4	422.5
75~100%	4.0	0.8	1.4	6.2	591.5
合 計	488.7	93.2	44.2	626.1	—

生育被度区分	海域別海草類生育量 (乾燥重量、kg)			
	辺野古地先【E=A×D】	大浦湾【F=B×D】	嘉陽地先【G=C×D】	全 域【H=E+F+G=(A+B+C)×D】
5~25%	34,425	8,467	2,231	45,123
25~50%	33,335	1,775	3,549	38,659
50~75%	5,788	803	2,873	9,464
75~100%	2,366	473	828	3,667
合 計	75,914	11,518	9,481	96,913

注) 単位面積あたりの乾燥重量は、各生育被度区分の中央値を用いて求めています (例: 5~25%→15%)。

(b) 主要な海草藻場、海藻群落の分布

マンタ調査、ライン調査及びスポット調査の結果に基づいて、海藻草類の被度が比較的高い範囲について、アマモ類をはじめとする大型の海草類により構成される藻場（海草藻場）と、ホンダワラ類をはじめとする大型の海藻類により構成される藻場（ホンダワラ藻場）に分けて整理した結果を、それぞれ図-6.15.1.31及び図-6.15.1.32に示します。

海草藻場は、リーフ内の比較的静穏な水域に分布し、辺野古地先、大浦湾奥部、安部の湾内、ギミ崎の東側において比較的被度が高い箇所がみられました。

ホンダワラ藻場は、波浪の影響が比較的大きなリーフ上やリーフ外縁に広く分布し、辺野古地先、大浦湾口部、安部～嘉陽地先に比較的被度が高い箇所がみられました。

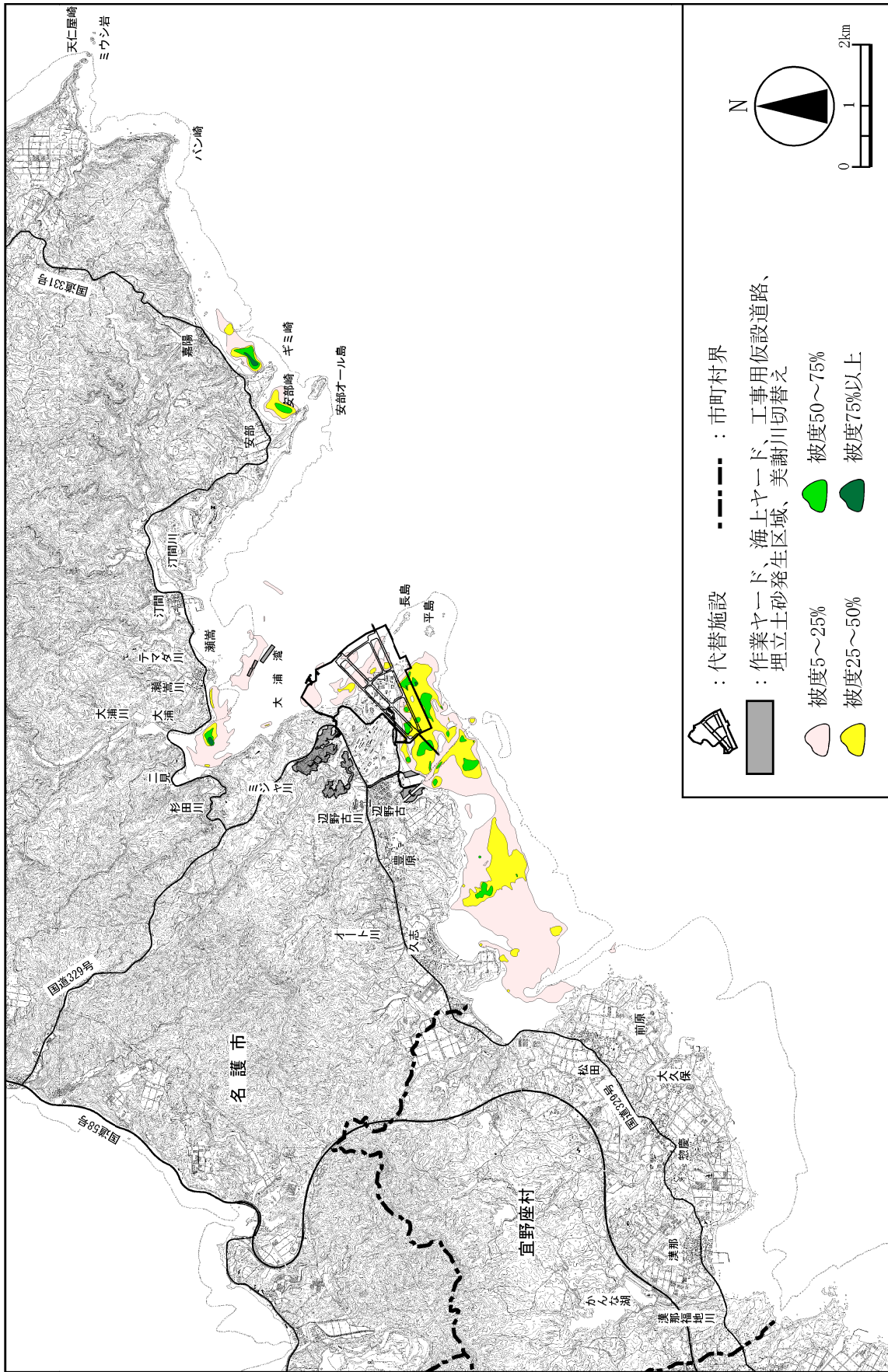


図-6.15.1.31 海草藻場の分布状況 (平成20年度)

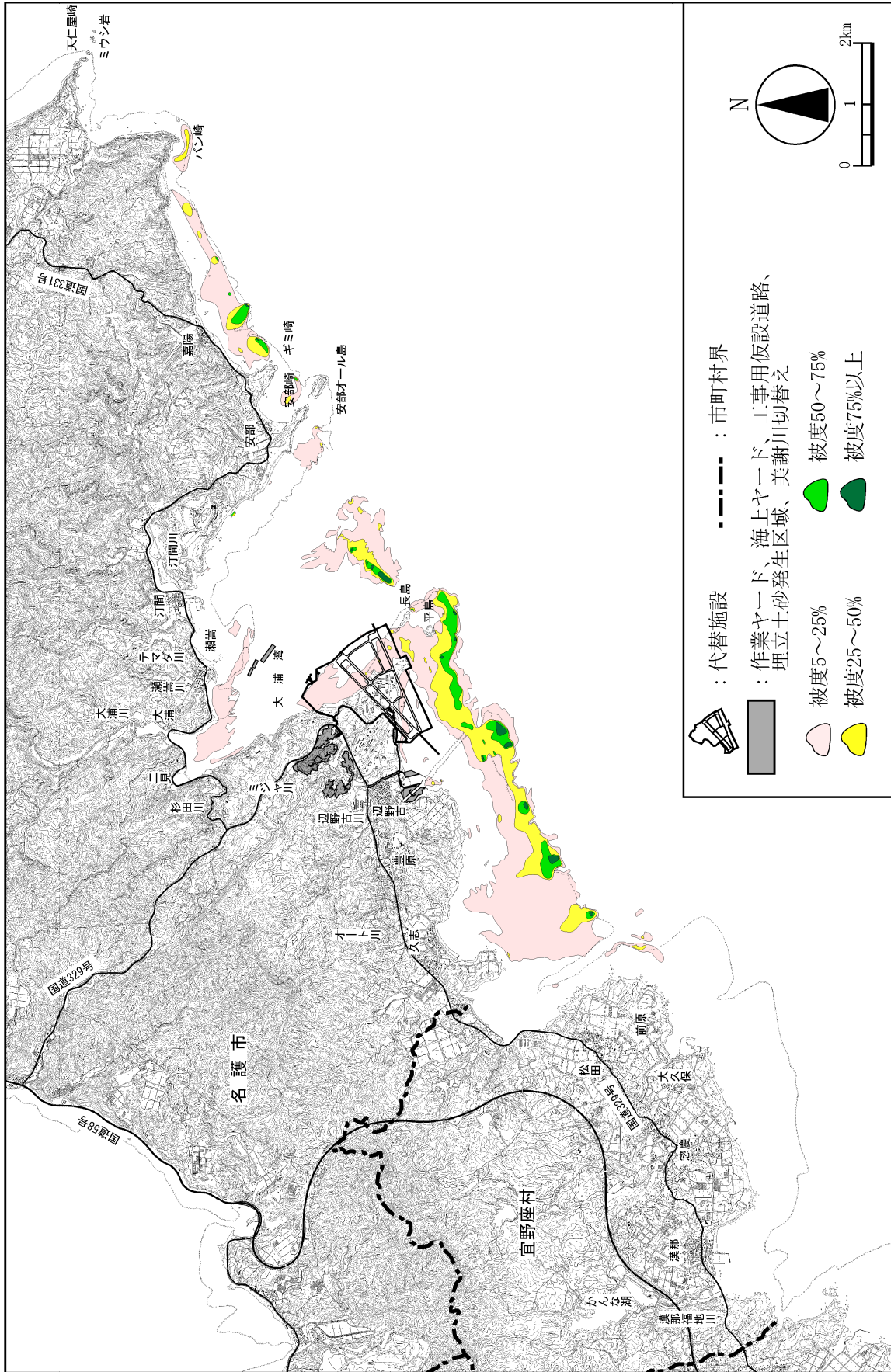


図-6.15.1.32 ホンダワラ藻場の分布状況（平成20年度）